

松伏二中 での マナビカタ

中三 国語

教科モットー
ことばを大切にし、
生涯学び続けるた
めの基礎的な力を
つけよう。



教科のねらい

- 国語に対する関心をもち、進んで表現したり、伝えあおうとする。(関心・意欲・態度)
- 目的や場面に応じて、筋道を立てて話したり的確に聞き取れる。(話す・聞く能力)
- 広い範囲から課題を見つけ必要な材料をもとにして、自分の考えをまとめ、相手や目的に応じて、適切に文章を書ける。(書く能力)
- 目的に応じて様々な種類の文章を読み、内容を的確に理解したり、進んで様々な種類の読書に親しめる。(読む能力)
- 表現と理解に役立てるための音声、語句、語彙、文法、漢字等について理解し、知識を身につける。文字を正しく速く書ける。(言語についての知識理解技能)

学年の学習内容

- 話すこと・聞くこと 自分の考えを目的や場面に応じるとともに、論理的に話したり、メモをとりながら聞く活動
- 書くこと 課題を見つけ必要な材料を集め、根拠を明らかにし、論理的に書く活動。
- 読むこと 書き手の表現の仕方や文章の特徴に注意して読み、様々な種類の文章を読み必要な情報を集めて表現する活動。

評価

- 国語に対する関心をもち、進んで表現したり、伝えあおうとしているか。(関心・意欲・態度)
 - 目的や場面に応じて、筋道を立てて話したり的確に聞き取れているか。(話す・聞く能力)
 - 必要な材料をもとにして、自分の考えをまとめ、相手や目的に応じて、適切に文章を書けているか。(書く能力)
 - 目的に応じて様々な種類の文章を読み、内容を的確に理解したり、進んで読書に親しめているか。(読む能力)
 - 表現と理解に役立てるための音声、語句、語彙、文法、漢字等について理解し、知識を身につけているか。文字を正しく速く書けているか。(言語についての知識理解技能)
- 《授業態度・発表・ワークシート・ノート・定期テスト・小テスト等で評価します。》

学び方の系統

3年
 (話すこと) 根拠を明らかにして、自分の考えを目的や場面に応じて、論理的に分かりやすく伝えることができる。
 (聞くこと) 発表をメモを取りながら、的確に聞き取ることができる。
 (書くこと) 広い範囲から材料を集め、自分の意見が相手に伝わるように根拠を明らかにして、論理の展開を工夫して書くことができる。
 (読むこと) 様々な種類の文章を読み、書き手の表現の仕方や文章の特徴に注意して読み取り、自分の表現に役立てることができる。

2年
 (話すこと) 根拠を明らかにして、自分の考えを目的や場面に応じて、分かりやすく伝えられる。
 (聞くこと) 発表をメモを取りながら、的確に聞き取ることができる。
 (書くこと) 広い範囲から材料を集め、自分の意見が相手に伝わるように根拠を明らかにして、書くことができる。
 (読むこと) 様々な種類の文章を読み、書き手の表現の仕方や文章の特徴に注意して読み取ることができる。

1年
 (話すこと) 自分の考えを目的や場面に意識して、分かりやすく伝えることができる。
 (聞くこと) 発表をメモを取りながら聞き取ることができる。
 (書くこと) 材料を集め、自分の考えや気持ちを明確にして、書くことができる。
 (読むこと) 内容をとらえ、目的や必要に応じて、要約することができる。

思考力・判断力・表現力等を育む教科の取組

- 発表をメモする。○スピーチメモを使い、スピーチする。○聞き取りテストを行う。
- 《心がけること》・キーワードで書く。
- ・話の中心部分と付加的な部分を正確に聞き取り、必要な情報を書く。

言語活動

学習計画

学期	月	学習事項 こんなことを学びます	重要事項・ことば等	チェック
一学期	四月	随筆「朝焼けの中で」 小説「握手」 論説「『批判』の言葉をためる」	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを持つ 場面や登場人物の設定 文脈の中での語句の効果 	
	五月	説明「月の起源を探る」 話す・聞く「自分の魅力を伝えよう」 文法への扉1「すいかはいくつ必要」	<ul style="list-style-type: none"> 論理の展開の仕方 自分の考えをまとめる 文法の復習・応用 	
	六月	俳句「俳句の可能性」 「俳句十六句」 書写「硬筆」	<ul style="list-style-type: none"> 俳文と俳句の並ぶ効果 俳句の表現の工夫 字形を整える 	
	七月	言葉「言葉を使おう」 小説「高瀬舟」 随筆「光で見せる展示デザイン」	<ul style="list-style-type: none"> 語句の意味に着目する 表現上の工夫 知識、考えを深める 	
	九月	詩「挨拶」 小説「故郷」 随筆「『記憶』と『資料』」	<ul style="list-style-type: none"> 文脈の中での語句の効果 心情描写、情景描写 言葉の理解 	
二学期	十月	古典「古今和歌集 仮名序」 古典「君待つと（万葉・古今・新古今）」 古典「夏草一『おくのほそ道』から」	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的背景に注意して 和歌の表現や語句 紀行文に親しむ 	
	十一月	論説「論理の展開に着目して読もう」 話す・聞く「課題解決に向けて話し合おう」 論説「ネット時代のコペルニクス」	<ul style="list-style-type: none"> 論理の展開の仕方 話し合い活動 表現のしかたを評価する 	
	十二月	言葉「熟語の読み方」 書写「書初め」 漢文「学びて時にこれを習ふ」	<ul style="list-style-type: none"> 漢字に関する知識 字形を整える 漢文に親しむ 	
	一月	随筆「アラスカとの出会い」 随筆「温かいスープ」	<ul style="list-style-type: none"> 人間、社会、自然について考える 	
三学期	二月	評論「聴くということ」 詩「わたしを束ねないで」 文法への扉2「文法のまとめ」	<ul style="list-style-type: none"> 文の中での語句の効果 詩の表現の工夫 文法学習のまとめ 	
	三月	言葉「漢字のまとめ」 創作「作文」 テーマ「三年間の歩みを編集しよう」	<ul style="list-style-type: none"> 語句のまとめ 自由に文章を創作 よりよい表現で書く 	

ようこそ、国語の授業へ！

読むこと

様々な種類の文章を読みましょう。良書や新聞を読み、ことばの力をつけましょう。また、筆者の主張に対する自分の考えを持ちましょう。

国語の授業はこう受けよう！



話すこと・聞くこと

声の大きさや話す速さに気をつけて話しましょう。また、相手の言葉をしっかりと聞き、考えを深めましょう。メモをとる習慣をつけましょう。

書くこと

自分の考えが相手に正確に伝わるように、言葉や構成を考えて、文章を書きましょう。

言語

意味が分からない語句が出てきた時は、必ず国語辞書で調べましょう。古典や漢文など、昔の文章に親しみをもちましょう。

授業を受ける前
受けた後
これだけはやって
おこう！

授業を受ける前

- 新出漢字や意味の分からない語句を調べておこう。
- 授業で扱う文章を先に一読しておこう。

授業を受けた後

- 授業で扱った教材をもう一度読み直そう。
- 授業内容を、教科書やノート、ワークシート等を使って、復習しよう。
- 説明文や物語文に対して自分の考えが浮かんだら、その都度ノート等にメモしておこう。
- 文章を書くときに、授業で学んだ語句を使うようにしよう。

授業に持ってくるもの

- 教科書 ○ノート ○ファイル ○国語便覧 ○書道道具 ○ワーク等

各授業で評価に係わる大事な点

- 関心・意欲・態度 ○話す・聞く能力 ○書く能力 ○読む能力
- 言語文化（漢字・文法・書写・古典等）